

富士フイルムグループが目指す姿

目指す姿の実現に向けたロードマップと重点課題(マテリアリティ)

[Sustainable Value Plan 2030 (SVP2030)]で掲げた目標を実現するために、2021年4月公表の中期経営計画[VISION2023]で定めた重点施策を推進し、サステナブル社会の実現に貢献していきます。

ヘルスケア・高機能材料の成長加速と持続的な成長を可能とする事業基盤の構築

VISION2023

売上高 2兆9,500億円
営業利益 2,900億円
CO₂排出削減^{*1} 11%
(2019年度比)

中期経営計画[VISION2023]当初の目標は、売上高2兆7,000億円、営業利益は2,600億円でした。2022年度に1年前倒しで目標を達成したため、上方修正しました。

革新的な技術・製品・サービスを通じて社会課題の解決に取り組みサステナブル社会の実現に貢献

SVP2030

売上高 3兆5,000億円以上
(内、ヘルスケア 1兆7,500億円)
CO₂排出削減^{*1,2} 50%
(2019年度比)

サステナブル社会の実現 Value from Innovation

- グローバル規模の環境・社会の課題を“イノベーション”で解決する
- 事業を通じて、社会にポジティブなインパクトを与える
- ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、社会の期待に適切に応える

事業ポートフォリオの強化と次なる飛躍への基盤を構築

VISION2019

売上高 2兆3,151億円
営業利益 1,866億円
CO₂排出削減^{*1} 25%
(2013年度比)

*1 CO₂排出削減は自社が使用するエネルギー起因(Scope1+2)を記載。

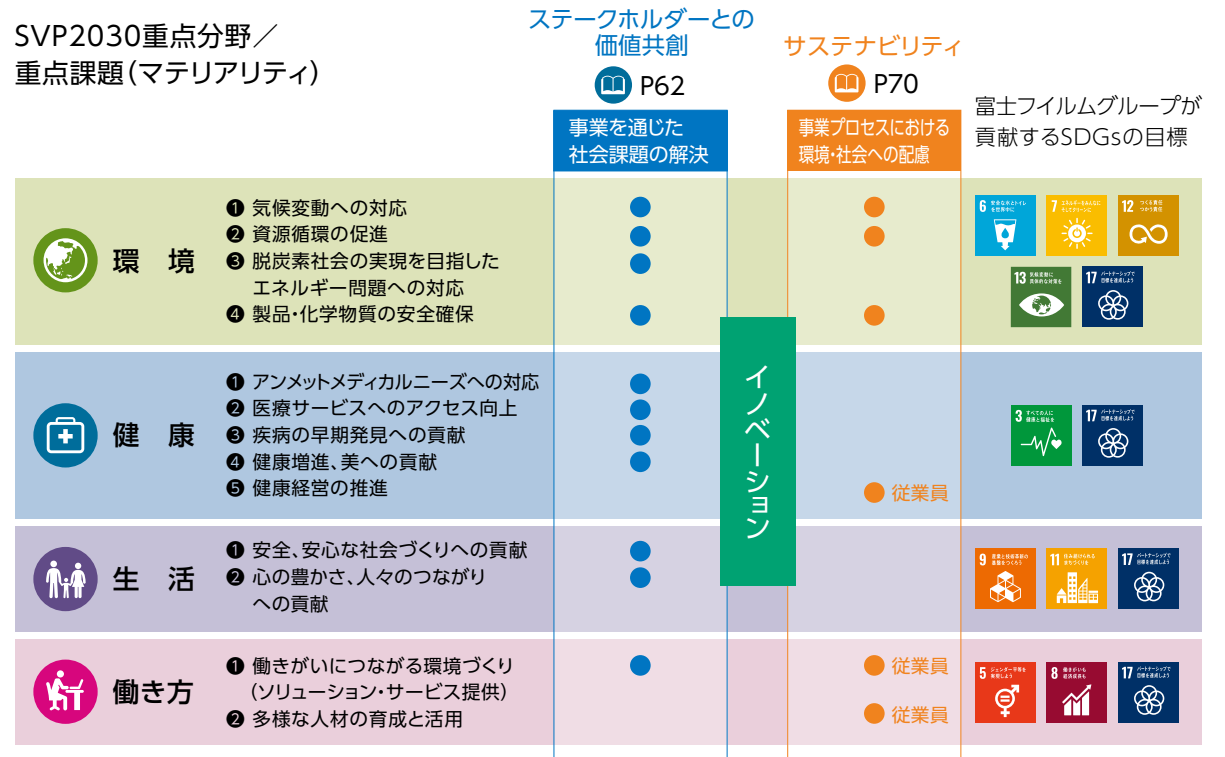
*2 2019年度比50%削減は、2013年度比65%削減に相当。また、2030年度の製品ライフサイクル全体でのCO₂排出削減目標は2019年度比50%。

重点課題(マテリアリティ)策定プロセス

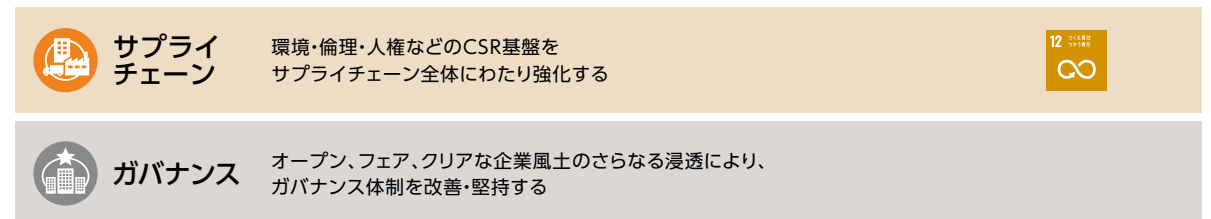
SVP2030では、2030年度に想定される「解決すべき社会・環境課題」と「富士フィルムグループの事業成長」の観点からマテリアリティ分析(項目の重点評価・選定)を行いました。重点課題については定期的に見直しを行い、社会課題の解決により一層貢献すると同時に、当社グループの企業価値向上を図っていきます。



SVP2030重点分野/ 重点課題(マテリアリティ)



事業活動の基盤



詳細は、「サステナビリティレポート2023」P9-12をご覧ください。▶ <https://holdings.fujifilm.com/ja/sustainability/report>